まちの話題

ちゃぐりん

7月15日、上益城と阿蘇の農業協同組合から町内の小学校4年生へ子ども雑誌「ちゃぐりん」の8月号が寄贈されました。これは、子どもに農業の大切さや自然との関わりや役割について、理解を深めてもらうことを目的に贈呈されました。
※ちゃぐりん…child（こども）、agriculture（のうぎょう）、green（みどり）の略
※将来を担う子どもたちに、農業、農村、食糧問題および環境問題などに関心を持ってもらいたいとの趣旨で、社団法人家の光協会より発行されています。

蘇陽峡でカヌー体験

7月20日、蘇陽中学校1年生が学年活動でカヌー体験が行われました。カヌー体験は特定非営利活動法人五ヶ瀬自然学校の指導のもと蘇陽地区滝下の五ヶ瀬川で行われました。カヌーを体験した生徒たちはまっすぐ進めず、ひっくり返る場面もありましたが、30分も経たないうちに競争できるようになるまで上達していました。蘇陽中学校の学年活動でカヌー体験をされたのは初めてで生徒はとても楽しんでいました。

五ヶ瀬自然学校は山都町でも季節に応じた自然の中での体験やキャンプ等のさまざまな活動を企画・運営されています。

地域と保育園をつなぐ七夕

7月8日、金内保育園の園児と老人会による七夕の飾りつけが行われました。七夕の飾りつけは地域交流や郷土愛を育んでもらうために毎年行われ、飾りつけられた七夕は金内郵便局に展示されました。

金内郵便局へ展示

7月15日、白糸保育園の園児とあさぎり会による七夕の飾りつけが行われました。昔ながらの生活の智恵や工夫を学んでもらう機会でもあり、ゆっくりと地域の方々との交流を過ごされました。

白糸保育園の飾りつけの様子

DVは大人だけの問題ではない

7月7日、矢部中学校で人権擁護委員によるデートDV（ドメスティックバイオレンス）の寸劇とDVDの上映がありました。中学3年生を対象としたこの寸劇は、男女の交際の中で身近に起こる身体的・精神的な暴力を劇やDVDを通して委員の方が分かりやすく説明したものです。DVは大人だけの問題ではなく、子どもたちの交際の中でも起こることを知ってもらうため中学生を対象に実施されました。劇では身近な日常会話での事例を、DVDでは実際の例を分かりやすく説明しており、生徒たちは真剣に話しを聞いていました。

環境学習

エコ活動上益城協議会研修会

7月13日、山都町の蘇陽地区でエコ活動上益城協議会の現地研修会が開かれました。エコ活動上益城協議会は県から委嘱された上益城郡内の地球温暖化防止活動推進員で組織される会で、環境問題全般について自主的に研修会や意見交換会を行っています。
まずは、柳井原で約30年間、アイガモ農法を営んでいる宮川英明さんの水田へ訪れました。約15アールの水田では、アイガモ約15羽が活躍中。動き回るカモにカメラを向け、栽培の難しさや魅力を質問。熱心に話に耳を傾けていました。

次に、二瀬本で阿蘇の草原のかやを利用した堆肥づくりなどの農業に取り組んでいる橋本龍生さんから「環境に配慮した農業」と題したお話がありました。景観維持や水質保全など、環境への負荷を軽減して、より安全な農産物の生産に配慮した、持続的な農業の取り組みを紹介していただきました。高冷地の特性を生かした橋本さんの農業の取り組みが、山都町の地域活性化につながっているのはもちろんのこと、河川の上流地域に住む責任として、生態系の確保にもつながっていることを学習することができました。

どんぐり楽校　環境出前講座

7月13日、潤徳小学校の学童保育「どんぐり楽校」で「環境出前講座」が開催され、1年生から6年生の16名が不法投棄やリサイクルについて学びました。

講師は熊本県産業廃棄物協会青年部の松本龍祐さん（国見総業）。「不法投棄や野外焼却は厳しく罰せられる。自然が汚され、臭いや蚊の発生、火災の原因になる」と説明がありました。

また、正しいごみの分別や、実際にごみ収集運搬車にごみを積み込む体験をしました。

スポーツの結果

第16回山都町ソフトバレーボール大会

7月7日～8日
トリムAの部
優　勝：御所Aチーム

御所Aチーム

第10回山都町協会長杯バレーボール大会

6月8日～10日
女子優勝：中島
男子優勝：中島東部

女子優勝　中島

男子優勝　中島東部